

月刊



平成28年8月1日発行 通巻247号  
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可  
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会  
 〒520-0801  
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F  
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : [shiga-sa@mx.bw.dream.jp](mailto:shiga-sa@mx.bw.dream.jp)

湖国が滋る・水と緑の街づくり

## CONTENTS

- ・ヘリテージマネージャー支援委員会  
平成28年度 滋賀県ヘリテージ  
マネージャー育成講座のご案内・・・ 2
- ・まちづくり委員会  
第10回「建築士の日」事業  
事業報告 ..... 3
- ・(公社)滋賀県建築士会野球同好会  
第53回滋賀県建設界野球大会の  
応援のお願い
- ・女性委員会  
2016びわこペーロン ゴーゴー!  
女性建築士☆ 応援お願いします!
- ・第48回 中部建築賞2016 募集  
始まりました。
- ・熊本地震レポート 熊本地震に  
おける木造建築物被害の構造的な  
特徴 ..... 4~5
- ・滋賀職能大(ポリテクカレッジ)  
からのお知らせ..... 6
- ・8月の暦
- ・滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて  
第2回



## 松瀬酒造 仕込み蔵

松瀬酒造、湖東地域は竜王町に位置し150年以上の歴史に育まれて来た酒蔵である。地下120mの大きな岩盤の下を流れる鈴鹿山系愛知川伏流水を仕込み水とし、酒米の栽培にもこだわり、竜王町の地酒として愛され続けている「松の司」を醸している。

『「松の司」の酒造りは、つねに自分らしく在りたい。』との思いのもと、古来よりの手法・こだわりを伝承しながらも、グローバルな目線で物事を捉え、これからの日本酒造りを見据える躍動を感じるの、世代交代がスムーズに行われている結果だろうか。

仕込み蔵は2014年に改装されている。築150年以上の木造建築の趣はそのままに、無駄のない作業動線が考慮され、照明も作業性と酒蔵の雰囲気を考え計画されている。2階の床板は創設当初より、釘打ちされず置かれているだけだが、掃除がしやすく利便性に富んでいるとの事。古い材も含めて、蔵の中に清潔感があるのは、行き届いた掃除の成果だろう。培ってきた歴史と新しいエネルギーが共存し、仕込み蔵入口にさりげなく飾られている生花にも、若い杜氏達の、自分達が継承して行くという自負が感じられる。

(取材及びHP参照)

平成28年度 滋賀県ヘリテージマネージャー育成講座のご案内

申込受付中

昨年に引き続き、「平成28年度 滋賀県ヘリテージマネージャー育成講座」が開講されます。ヘリテージマネージャー育成講座とは歴史的建造物を保存活用するための「歴史的建造物保存活用推進員」を育成するための建築専門家を対象とした講座です。県内に残る歴史的建造物の保存やその活用に建築士として活躍して頂きたく、滋賀県建築士会と滋賀県が文化庁の補助を受けて開催する講座です。下記内容をご確認の上、お申し込みくださいますようお願い申し上げます。

平成28年度 滋賀県ヘリテージマネージャー育成講座 日程表

第1回※	9月10日(土)	9:30~17:00	建設会館大ホール
第2回※	9月24日(土)	9:00~16:00	建設会館中会議室
第3回※	10月15日(土)	9:00~16:00	建設会館中会議室
第4回	11月19日(土)	9:00~16:00	東近江市五個荘
第5回	12月17日(土)	9:00~16:00	東近江市五個荘金堂伝統的建造物群保存地区
第6回※	12月24日(土)	9:00~16:00	建設会館中会議室
第7回	1月7日(土)	9:00~16:00	東近江市五個荘
第8回※	1月14日(土)	9:00~16:00	建設会館中会議室
第9回※	1月28日(土)	9:00~16:00	建設会館中会議室
第10回※	2月11日(土)	9:00~17:30	建設会館大ホール

受講費：会員：20,000円（税抜）／会員外：25,000円（税抜）

募集人数：30人（申込み多数の場合は先着順とさせていただきます）

募集締切：平成28年8月25日(木)

受講資格：建築士（一級・二級・木造）、建築大工技能士のいずれかの資格を有する県内在勤もしくは居住の方

お申込み・お問合せ：公益社団法人 滋賀県建築士会

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1-18建設会館3階

TEL 077-522-1615

主催：滋賀県ヘリテージマネージャー実行委員会（（公社）滋賀県建築士会内）

後援：滋賀県教育委員会

滋賀県ヘリテージマネージャー育成講座(建造物) <b>受講申込書</b>		お申込み先 (事務局)	FAX 077(523)1602		
フリガナ		生年月日	年	月	日
氏名					
自宅住所	〒	TEL ( ) -			
		FAX ( ) -			
		E-mail			
勤務先	〒	TEL ( ) -			
		FAX ( ) -			
		E-mail			
建築士資格等	※該当する資格に○印をしてください 建築士（一級・二級・木造） 建築大工技能士	所属団体			

・この個人情報は滋賀県ヘリテージマネージャー育成講座以外には使用しません。  
 ・平成26・27年度ヘリテージマネージャー育成講座受講者で未修了の方には、別途ご案内させていただきます。  
 ・※は一般公開講座とします。聴講ご希望の方は事務局にお電話ください（[一般]1,000円、[学生]500円）

毎年恒例となりました本事業は第10回となり、6月25日(土)10時から、イオン長浜店及びフォレオ大津一里山の2会場にて開催しました。PR用配布物の建築士会「うちわ」1,500枚には熊本地震での応急危険度判定業務において本会会員が活躍したことを盛り込んで、建築士会及び保証機構の「ポケットティッシュ」、ドロップと共に来店者の方々に配布し、建築相談コーナーも設け、会員多数のご協力により広く県民の方々にPRできました。

今後も「公益社団法人滋賀県建築士会」の存在や、私たち「建築士」をもっと身近に感じていただけるように工夫しながらPRを行っていきます。



当日配布物



来場者との触れ合い



建築相談コーナー



PR活動



活動を掲載したうちわ

野球同好会です！第53回滋賀県建設界野球大会に参加します！

平成26年の野球同好会発足時から参加しております大会で、去年は皆様から盛大なご声援を頂きました結果、なんとか初戦を勝ちあがる事が出来ました。

今年の目標は、初戦だけでなく、2回、3回と勝ち上がる事ですので、是非とも昨年に引き続き会員皆様からの盛大なご声援をお願いしたいと思っております。

**開催場所：皇子山球場 大津市御陵町4-1**

**開催日時：8月20日(土) 9:00～開会式**

部員募集も随時行っておりますので、ご興味のある方は滋賀県建築士会事務局までご連絡下さい。

- 開催日時 8月21日(日) 8:00～17:00 雨天決行
- 開催場所 大津湖岸なぎさ公園 サンシャインビーチ

第48回 中部建築賞2016 募集始まりました。

応募期間：平成28年8月1日(月)～8月31日(水)

主催：中部建築賞協議会

詳しくは下記へアクセスしてください。

HP <http://www.tkbc.jp/> または <http://www.kentikushikai.jp/>

## 熊本地震レポート 熊本地震における木造建築物被害の構造的な特徴

大津地区 川端 眞

この度の熊本地震で被害に会われた方にまずは心よりお見舞い申し上げます。去る5月3日から5日にかけて職人がつくる木の家ネットで組織された熊本地震の調査に参加しました。主として伝統構法建物の被害状況を調査するためです。

建物被害には大きくふたつに分類できそうです。ひとつは地盤の崩壊によるもの、そしてもうひとつは建物自体がもつ耐力不足等の問題によるものです。

地盤の崩壊はさらに大きくふたつに分類できます。ひとつは造成地の崩壊や地割れによる基礎の崩壊、そしてもうひとつは地盤の液状化による建物の沈下や傾斜です。前者は建築時に対処することは極めて困難ですが、後者は地盤調査が一般的ではなかった頃の建物に顕著な被害が出ているようであり、地盤改良を施すなど（既築の建物には困難ですが）建築時に対処が可能です。

山間部の石積み擁壁が崩壊している光景はあたかも昔ながらの山間部の集落が地震に弱いといった印象を与えますが、ヒアリングをしてみるとそうではないことがわかりました。今回調査した大切畑地区などは100年程前から人々が暮らし始めたとのことであり、地震の発生周期からすれば、安全を確認していなかったと言わざるを得ません。つまり伝統的な集落は数百年の歴史を経て安全性を確認しているからこそそこに住み続けていると考えられます。そういう意味では100年程度しか人が暮らしていない地域というのは言うなれば新興住宅地です。さらに悪いことに、現代のような造成技術が発達していなかったことから簡素な石積みで無理な造成をしており、このことが被害を拡大させたと考えられます。



写真1 地盤の崩壊1



写真2 地盤の崩壊2



写真3 地盤の崩壊による建物被害1



写真4 地盤の崩壊による建物被害2

建物自体の耐力不足については、現行の建築基準法を守れているかどうかではっきりと運命が分かると言わざるを得ません。現行の基準（2000年）を守っているであろう建物で耐力不足が原因と考えられる倒壊はみられません。逆に言えば、それ以前の建物はプレファブ造でも大きな被害が出ているものもあり、構法による差異はあまりみられません。仕様規定であれ限界耐力計算であれ、きちんと法律を守って建てるのが最も重要です。それ以前の建物は耐震補強を施すことが重要です。新しい建物で唯一、小屋部分が倒壊しているものが複数みられました。熊本では野路板に構造用合板を使用しないことが多いとのことであり、面剛性が不足していることが原因であると考えられます。

伝統構法による建物の被害は概して大きくみえます。構造的には十分に地震に耐えていても土壁が落ちたりすると大破しているようにみえます。伝統構法建物はその変形性能を活かして地震に耐えるため、どうしても変形の痕跡が残ってしまいます。しかし、大した手間をかけなくても修復することができるのです。また、今回の調査で最も不思議だったのが、偏心についてです。一般に偏心していることは良くないことであり、偏心が大きいほど被害は大きくなるといわれています。しかし、大きな変形を許容する伝統構法では、偏心による影響は全く感じられませんでした。水平構面が地震エネルギーを吸収しているとした考えられません。屋根瓦については、棟が落下すると大被害に見えてしまいます。瓦葺きの工法は阪神淡路大震災の反省からガイドライン工法が普及しており、大被害のものと、(ガイドライン工法で施工されていると思われる)全くの無被害のものに二分されます。

伝統構法による建物で最もしてはいけないことは、我流による良いとこ取りではないでしょうか。例えば石場建てで基礎に緊結しないのであれば、一切留めつけてはならないし、仕様規定の逆手をとるようなこと(壁があるのに壁倍率にカウントしないなど)をすれば引抜が発生したり、偏心が増すなど、予想外の挙動をすることになり、最悪の場合、人の命を奪うことになります。

建物、特に住宅は人命を守ることが最大の役目であることを改めて肝に銘じた熊本地震調査でした。



写真5 筋かい金物や柱脚金物が無い建物



写真6 プレファブ造の被害



写真7 小屋部分の被害



写真8 伝統構法建物の被害



写真9 偏心の大きな伝統構法建物



写真10 ガイドライン工法による瓦屋根

## 滋賀職能大（ポリテクカレッジ）からのお知らせ



コースNo.	コース名	受講料	定員	実施日	講習時間帯
CH041	構造設計技術（木構造実践編）	¥6,500	10	9/7(水)、14(水)	10:00～17:00
CH031	木造住宅の省エネ設計技術	¥6,500	10	10/5(水)、12(水)	10:00～17:00

各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。

講座の概要は <http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H28/2016ch.pdf>

ネットでの受講申し込みは [http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar\\_form\\_mousikomi.html](http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_form_mousikomi.html)

受講申込書のダウンロードは <http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H28/entry2016.pdf>

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
 〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属  
**滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)**  
[www3.jeed.or.jp/shiga/college/](http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/)

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課

TEL: 0748-31-2254

FAX: 0748-31-2255

## 8月の暦

1	月	仏滅		11	木	先負	山の日 ↑ 事務局 夏期休暇 ↓	21	日	先勝	2016びわこペーロン
2	火	大安		12	金	仏滅		22	月	友引	
3	水	先勝	ヘリテージマネージャー 支援委員会	13	土	大安		23	火	先負	
				14	日	赤口		24	水	仏滅	
4	木	友引		15	月	先勝		25	木	大安	
5	金	先負		16	火	友引	26	金	赤口		
6	土	仏滅	青年委員会 家族親睦事業	17	水	先負	27	土	先勝		
7	日	大安		18	木	仏滅	四役会／第2回 理事会	28	日	友引	
8	月	赤口	情報広報委員会	19	金	大安		29	月	先負	
9	火	先勝		20	土	赤口	第53回滋賀県建設界野球 大会開会式	30	火	仏滅	
10	水	友引						31	水	大安	

### 滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて 第2回

## 松瀬酒造（蒲生郡竜王町）

代表取締役 松瀬氏は、各地の酒蔵がそれぞれの地域で昔のように顔のみえる形で原料米を栽培し、個性あふれる日本酒を造ることが、日本酒本来の面白さであり、地域農業の活性化に役立つと考え、酒米栽培で若手農業者を育て、彼らと共に琵琶湖を取り巻く自然環境を守り、次世代に残す圃場のあり方を追求して行きたいと語っておられ、その思いは若き杜氏達に確かに伝承されている。（公益社団法人 日本酒造協会 H.P. 及び取材参照）

代表銘柄：松の司 純米吟醸 竜王山田錦（2007年IWC（インターナショナルワインチャレンジ）においてGOLDを獲得）

創設当初からの釘打ちされいない2階床板

